

岡山県の地震

令和6年(2024年)10月

目 次

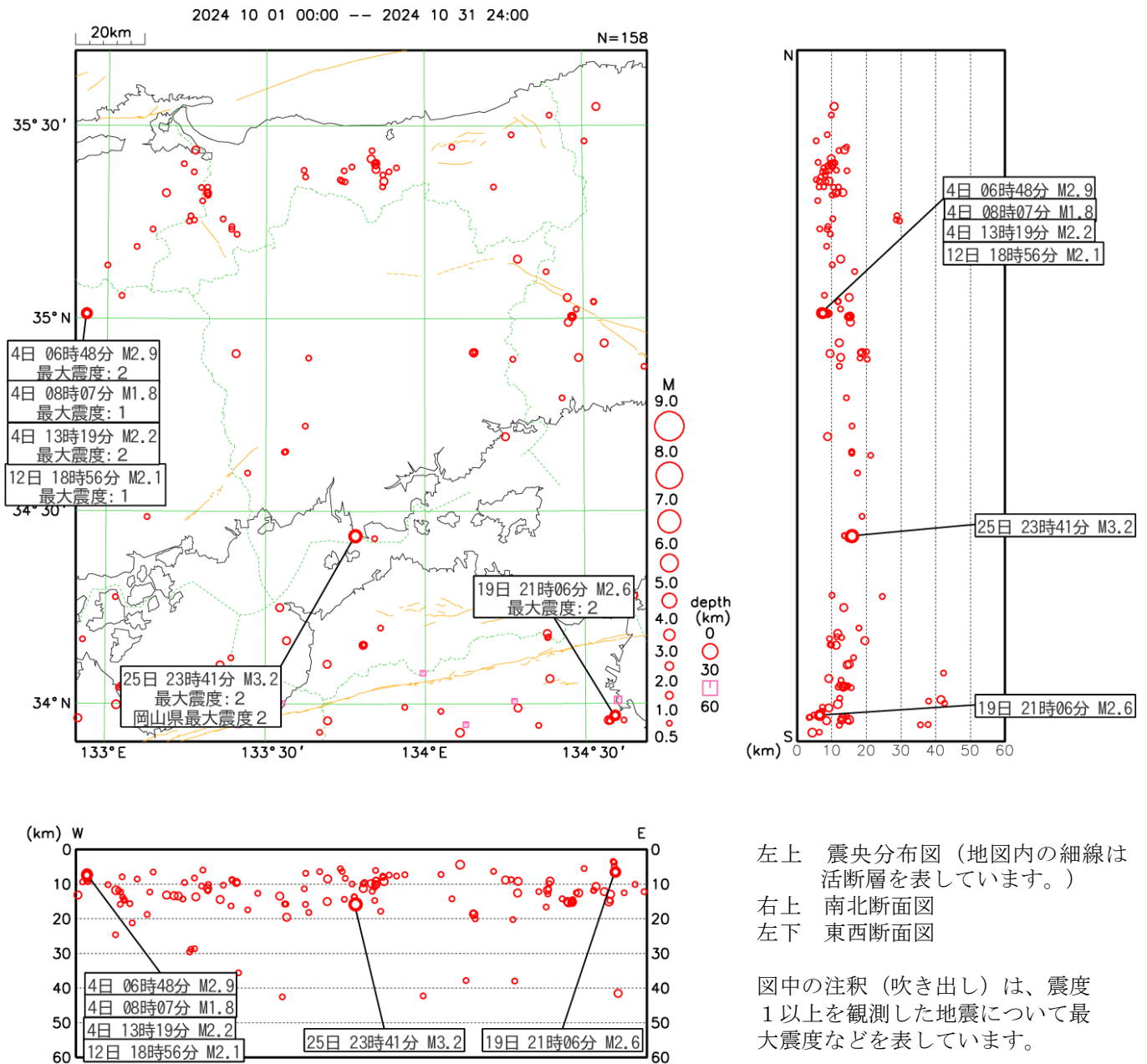
○岡山県及びその周辺の地震活動（10月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度 1 以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	… 3
○地震防災メモ No.226	
昭和東南海地震（1944年12月 7 日）から80年	… 4

- 「岡山県の地震」は、月 1 回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
- この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(10月)

震央分布図及び断面図



概況

10月の概況

- ・ 10月に震度1以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は6回 (前月: 1回) でした。
- ・ 岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は10月中は1回 (前月: 2回) あり、そのうち震央が上図の範囲内の地震は1回、範囲外の地震は0回でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(10月)

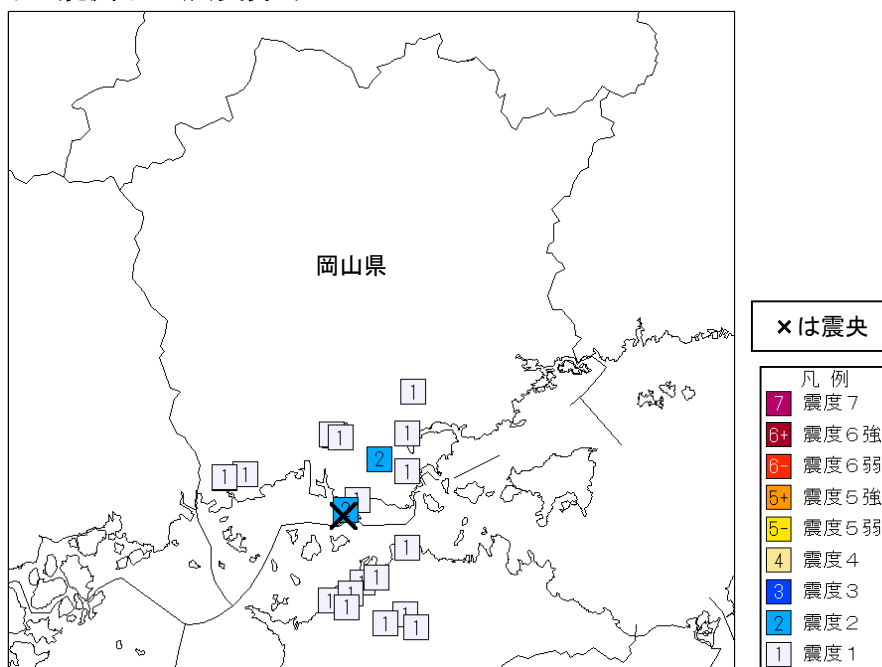
2024年10月25日23時41分 瀬戸内海中部		34° 26.16' N 133° 46.91' E 16km M3.2
----- 地点震度 -----		
岡山県	震度 2:	倉敷市下津井*,岡山南区片岡*
	震度 1:	倉敷市新田,倉敷市沖*,倉敷市白楽町*,倉敷市児島小川町*,玉野市田井*, 笠岡市殿川*,笠岡市笠岡*,里庄町里見*,岡山中区浜*,岡山南区浦安南町*

- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報（カタログ編）』に掲載されます。
- 2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(10月)

2024年10月25日23時41分 瀬戸内海中部の地震

岡山県及び周辺観測点の震度分布



<地震の概要>

25日23時41分 瀬戸内海中部の地震（深さ16km、M3.2）により、岡山県倉敷市、岡山市で震度2を観測したほか、岡山県、香川県で震度1を観測しました。岡山県では、玉野市、笠岡市、里庄町で震度1を観測しました。

昭和東南海地震(1944年12月7日)から80年

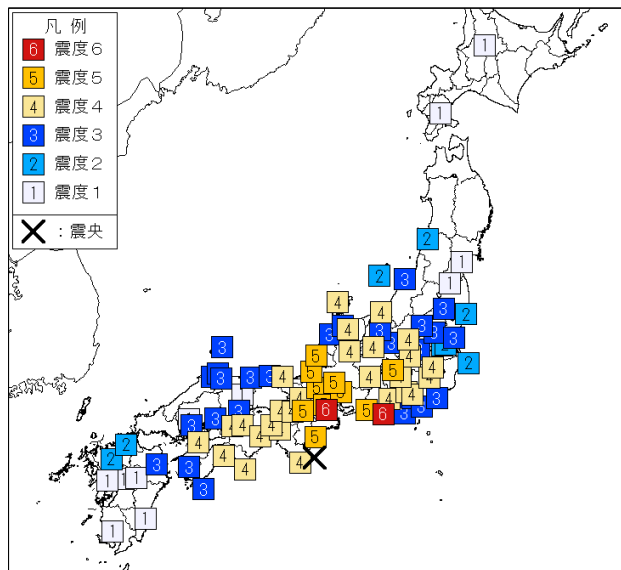
◆昭和東南海地震（1944年）

1944年12月7日13時35分、三重県南東沖の南海トラフを震源とするマグニチュード7.9のプレート境界型地震(以下「昭和東南海地震」という。)が発生しました。

静岡県、三重県で震度6（当時の震度階級の最大）を観測し、北海道から九州地方の広い範囲で震度5～1を観測しました。さらに、この地震により津波が伊豆半島から三重県にかけての沿岸を襲い、高さは三重県の沿岸で6～9mに達しました。

この地震は戦争中に発生したため被害の詳細は文献により著しく異なりますが、死者数は1,230人、全壊家屋は26,130棟など、静岡、愛知、岐阜、三重の各県を中心に大きな被害が発生しました。

※津波の高さ、被害は内閣府の「災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 平成19年3月」より



1944年12月7日13時35分に発生した
三重県南東沖の地震の震度分布

◆昭和南海地震（1946年）

南海トラフではマグニチュード8クラスの地震が隣接する領域で時間差をおいて発生することがあります。昭和東南海地震の約2年後、1946年12月21日に和歌山県南方沖の南海トラフを震源としたマグニチュード8.0のプレート境界型地震(以下、「昭和南海地震」という。)が発生しました。

昭和南海地震により、中部地方から九州地方にかけて大きな被害が発生しました。岡山県では岡山市で震度4を観測し、県南部を中心に死者52名、負傷者157名、全壊建物1200戸など甚大な被害が発生しました。

※岡山県の被害は岡山県「地域防災計画(資料編)」より

◆南海トラフ地震に備えましょう

南海トラフでは、概ね100～150年間隔で繰り返しプレート境界型の大地震（いわゆる、南海トラフ地震）が発生しています。前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震及び昭和南海地震）が発生してから約80年が経過し、次の南海トラフ地震の発生が迫っています。自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備をしておきましょう。

○南海トラフ地震を知るためのリーフレット

・「南海トラフ地震 -その時の備え-

URL: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

・「マンガで解説！南海トラフ地震その日が来たら・・・」

URL: https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_west_01.pdf

